

氏名 渡 邊 誠

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 甲 第 480 号

学位授与の日付 昭和54年 3 月31日

学位授与の要件 医学研究科内科系内科学専攻
(学位規則第 5 条第 1 項該当)

学位論文題目 Lipoprotein abnormalities in cholestasis

(胆汁うっ滞時のリポ蛋白異常)

I Electrophoretic and ultracentrifugal analyses

(電気泳動法および超遠心法による分析)

II Isolation, characterization and clinical evaluation
of an additional cholestatic lipoprotein (Slow -
migrating HDL)(胆汁うっ滞時の新たな異常リポ蛋白, Slow - migrating
HDL, の分離, 特性および臨床的意義)

論文審査委員 教授 水原 舜爾 教授 大藤 眞 教授 木村 郁郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胆汁うっ滞時の血中脂質異常をリポ蛋白異常と対応させる目的で、とくに胆汁うっ滞時の血中脂質異常がリポ蛋白 X (LP-X) の出現のみで説明できるか否かを解明する目的で、リポ蛋白分画を超遠心分離後、リポ蛋白各クラスおよびアポ蛋白のポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動 (PAGE) を行なうとともに脂質、蛋白の定量を行なった。その結果、胆道閉塞での血中脂質異常は LP-X および LP-Y の出現でその大部分が説明され、肝内胆汁うっ滞では LP-X-like HDL および PAGE で明らかにされた易動度の遅い HDL、すなわち HDL-S の存在でその大部分が説明された。

肝内胆汁うっ滞時に高率に出現する上記の HDL-S を単離後、物理化学的分析を行ない、また臨床的に検討した結果、HDL-S は $1.063 < d < 1.083$ にほとんどが回収され、アポ蛋白は大部分がアポ A-1、一部がアポ E で、脂質成分は遊離コレステロールおよび中性脂肪に富むことが特徴的であり、臨床的には LP-X が低値で胆道酵素が高値を呈した軽度黄疸時にのみその出現をみたことから、HDL-S は "dysmatured" ("異成熟") HDL と考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は肝内胆汁うっ滞にさいし、HDL-S と称する異常リポ蛋白を発見し、その物理化学的性状をくわしくしらべたもので、意義ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。